

商品名 アミサリン注100mg 医薬品基本情報

薬効	2121 プロカインアミド系製剤	一般名	プロカインアミド塩酸塩注射液
英名	Amisalin	剤型	注射液
薬価	100.00	規格	10% 1mL 1管
メーカー	アルフレッサ ファーマ	毒劇区分	

アミサリン注100mgの効能・効果

期外収縮<上室性>、期外収縮<心室性>、発作性頻拍<上室性>、発作性頻拍<心室性>、(手術、麻酔)の不整脈、新鮮心房細動、心房粗動、陳旧性心房細動

アミサリン注100mgの使用制限等

- 脚ブロック、刺激伝導障害、洞房ブロック、房室ブロック、重篤なうっ血性心不全、アミオダロン塩酸塩<注射剤>投与中、バルデナフィル塩酸塩水和物投与中、トレミフェンクエン酸塩投与中、モキシフロキサシン塩酸塩<経口剤>投与中、重症筋無力症、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴
記載場所 使用上の注意
注意レベル 禁止
- うっ血性心不全<重篤なうっ血性心不全を除く>、心筋梗塞、心筋症、弁膜症、基礎心疾患、基礎心疾患があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋梗塞があり心不全又はその恐れ・疑い、心筋症があり心不全又はその恐れ・疑い、弁膜症があり心不全又はその恐れ・疑い、抗不整脈薬併用中、低血圧、気管支喘息、血清カリウム低下、重篤な腎機能障害、重篤な肝機能障害、塞栓の既往、一過性脳虚血発作
記載場所 使用上の注意
注意レベル 注意

アミサリン注100mgの副作用等

- QRS幅増大、心室頻拍、心室粗動、心室細動、QRS幅の異常な増大、期外収縮増加、心不全、血圧下降、SLE様症状、発熱、紅斑、筋肉痛、関節炎、多発性関節痛、胸部痛、心膜炎、胸水、無顆粒球症、咽頭痛、倦怠感
記載場所 重大な副作用
頻度 頻度不明
- 頭痛、不眠、幻視、幻聴
記載場所 その他の副作用
頻度 頻度不明
- 過敏症、発熱、悪寒、発疹、好酸球増多、白血球減少、血小板減少、貧血
記載場所 その他の副作用
頻度 0.1%未満

4. PQ延長、QRS幅増大、QT延長、徐脈、血圧低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
5. 心室頻拍、心室細動	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. 催不整脈作用、中毒症状、あえぎ呼吸、アシドーシス、痙攣、刺激伝導障害、著明なQRS幅増大、QT延長、心室細動、心室頻拍、心不全悪化、血圧低下、塞栓	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アミサリン注100mgの相互作用

1. 薬剤名等：モキシフロキサシン塩酸塩

発現事象	QT延長、心室性頻拍<Torsades de pointesを含む>	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	禁止

2. 薬剤名等：バルデナフィル塩酸塩水和物

発現事象	QT延長、心室性頻拍<Torsades de pointesを含む>	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	禁止

3. 薬剤名等：アミオダロン塩酸塩

発現事象	QT延長、心室性頻拍<Torsades de pointesを含む>	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	禁止

4. 薬剤名等：トレミフェンクエン酸塩

発現事象	QT延長、心室性頻拍<Torsades de pointesを含む>	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	禁止

5. 薬剤名等：抗不整脈薬併用中

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

6. 薬剤名等：スニチニブリンゴ酸塩

発現事象	QT延長、心室性頻拍<Torsades de pointesを含む>	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加	指示	注意

7. 薬剤名等：アミオダロン塩酸塩

発現事象	本剤の抗不整脈作用等の心血管作用を増強	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が相加的に増加、本剤の代謝を阻害し、又は本剤及び活性代謝物（NAPA：N-アセチルプロカインアミド）の腎クリアランスを低下させ、排泄を遅延	指示	注意

8. 薬剤名等：β遮断薬

発現事象	過度の心機能抑制作用	投与条件	-
理由・原因	相互に心機能抑制作用を増強	指示	注意

9. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	本剤の抗不整脈作用等の心血管作用を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤及び活性代謝物（NAPA：N-アセチルプロカインアミド）の腎クリアランスを低下させ、排泄を遅延	指示	注意

10. 薬剤名等：サルファ剤

発現事象	抗菌力を減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤は体内で代謝され、微生物の発育因子であるp-アミノ安息香酸を生じ、サルファ剤の抗菌作用と拮抗	指示	注意

11. 薬剤名等：ジギタリス

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	ジギタリス中毒により房室ブロックが発生した際、本剤の投与を続けることは危険	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『DIR』